

プレスリリース

2026 年 7 月 17 日

オットーボック・ジャパン株式会社

.....

オットーボック・ジャパン×アシックス共同制作、義足ユーザーの 挑戦を描くショートムービー3本を2026年7月17日に公開 「ランニングクリニック 2025」参加者の実話をもとに制作

オットーボック・ジャパン株式会社（本社：東京都港区）は、2025 年 10 月に東京大学駒場キャンパスにて開催した「ランニングクリニック 2025」の参加者を取材し、義足で走る喜びや挑戦の姿を描いたショートムービー3本を公開しました。本動画は株式会社アシックスと共同制作し、義足ユーザーが一步踏み出す瞬間や、走る楽しさを実感する様子をリアルに映し出しています。



ボールを使ったウォームアップ

■ショートムービー制作の背景

オットーボックは、最高品質の製品・技術・サービスにより、「人々が再び自立した生活を取り戻し、自由に活動が行えるようになるためのサポート」を行うことを理念に掲げています。

.....

差出人: オットーボック・ジャパン株式会社 〒105 0012 東京都港区芝大門 1-9-9 野村不動産芝大門ビル 4F

www.ottobock.com/ja-jp

TEL: 03-6739-4090 (代表) / FAX: 03-6739-4097 (代表)

一方、アシックスはこれまで、「健全な身体に健全な精神があればし（Anima Sana In Corpore Sano）」という創業哲学のもと、スポーツが人の心身にもたらす前向きな力を重視してきました。義足ユーザーが“走る”体験を通して、できないと思っていたことができる喜びに変わるランニングクリニックは、この両社の想いを体現する取り組みであり、今回公開したショートムービーは、その体験を広く社会に共有するために制作したものです。

義足ユーザーが抱える想いや、走ることによって生まれる前向きな変化に焦点を当てています。



パラリンピックメダリストによる熱血指導

■動画内容（全3本）

「走りたい」という思いを胸に挑戦する3名の義足ユーザー。それぞれの背景と挑戦のストーリーを紹介します。

参加者：関田さん編

19歳で心筋梗塞を経験し、血栓が原因で足を失う。学生時代はハンドボールに打ち込んでいたが、家族ができたことで「子どもの運動会で一緒に走りたい」と再び走ることを決意。できる動作が増えていく喜びや仲間との出会いが励みとなり、目標に向かって挑戦を続けている。

【リンク】

<https://youtu.be/3dak9oB1zqk>

参加者：任田さん編

幼少期の交通事故で義足となり、「走ってはいけない」と言われてきたが、社会の理解が進む中で前向きに走る楽しさを再発見。風を切る感覚やアスリートと走る喜びを実感し、「気持ちよく 100m を走れるようになること」を目標に挑戦。「70 歳になっても走り続けたい」と語る。

【リンク】

https://youtu.be/YBtRdq_vaqY

参加者：沖田さん編

体力づくりと「河原を走りたい」という思いで参加。普段しない動きへの不安や転倒への心配を抱えながらも挑戦。「足を切断するとできないことばかりに目が向きがちですが、できることもある」と気づき、前向きに走り出している。

【リンク】

<https://youtu.be/HbKAtkeCtm4>

■オットーボック・ジャパン マーケティング部 吉田茜

「今回の動画は、参加者の“走りたい理由”と、その一歩を踏み出す勇気に焦点を当てています。多くの方に義足で走る魅力と可能性が届くことを願っています。」

■アシックス パラスポーツ企画部 浅田育子

「走ることへのチャレンジを通した、心のポジティブな変化を伝えたいと思いました。障がいの有無に関わらず、“スポーツの力は、すべての人が感じられる”ということを多くの方に知ってもらえると嬉しいです。」

■動画公開情報

- 公開日：2026 年 7 月 17 日
- 公開先：オットーボック・ジャパン公式 YouTube チャンネル
- 撮影：東京大学駒場キャンパス（ランニングクリニック 2025 期間中）

■ランニングクリニック開催概要

- 開催日：2025 年 10 月 24 日（金）～26 日（日）
- 開催場所：東京大学駒場キャンパス
- 参加者：下肢切断者 9 名 / 来場者・見学者：約 70 名
- 講師：ハインリッヒ ポポフ、山本篤氏、兎澤朋美選手
- 主催：オットーボック・ジャパン株式会社
- 協賛：株式会社アシックス
- 後援：東京大学スポーツ先端科学連携研究機構
一般社団法人日本パラ陸上競技連盟
公益財団法人日本財団パラスポーツサポートセンター

.....
差出人: オットーボック・ジャパン株式会社 〒105 0012 東京都港区芝大門 1-9-9 野村不動産芝大門ビル 4F

www.ottobock.com/ja-jp

TEL: 03-6739-4090 (代表) / FAX: 03-6739-4097 (代表)



参加者集合写真

本イベントは、公益財団法人日本財団 HEROs AWARD 2024 企業部門を受賞した取り組みでもあり、社会におけるインクルーシブスポーツの普及に寄与しています。

オットーボックは今後も、「誰もが歩く・走る喜びを感じられる社会」の実現を目指し、全国で活動を展開していきます。

<https://sportsmanship-heros.jp/about/award/>

■オットーボックについて

- オットーボックは義肢、装具、車いすのリーディングサプライヤーとして、疾病や怪我などにより動きを制限された人々がモビリティを取り戻したり、維持したりできるよう、最新技術とリハビリテーションを組み合わせたモビリティソリューションを提供しています。1919年にドイツで創業し、現在、グローバルネットワークを通して全世界に製品、技術、サービスを供給しています。オットーボックのスポーツラインナップには走行用板バネ、スポーツ用膝継手、ラグビーやバスケットボール用車いすなどがあり、障がいのある人々が陸上競技や球技を楽しむことを可能にしています。

- 1988 年ソウル大会以降 30 年以上の長きにわたり、パラリンピック競技大会にて修理サービスを提供し続けています。2005 年からはパラリンピックのワールドワイドパートナーとして、パラリンピックムーブメントを支援しています。
- 2012 年から、パラリンピックの金メダリスト、ハインリッヒ・ポポフ指導のもと、世界各国で下肢切断者を対象としたランニングクリニックを開催し、パラリンピックに出場する選手も輩出しています。

■ オットーボック・ジャパン株式会社について

オットーボック・ジャパン株式会社は、1999 年にオットーボック社の日本法人として設立されました。設立以来、最先端の福祉機器の普及に向けて様々な取り組みを行っています。

【本リリースに関する問合せ先】

オットーボック・ジャパン（株） マーケティング

担当：吉田 茜（ヨシダアカネ） 直通電話：03-6739-4092 携帯：080-3351-4962

E-Mail： akane.yoshida@ottobock.co.jp